

みなかみ

議会 だより

第7号

平成19年5月1日発行
(2007年)

群馬県利根郡みなかみ町

熊野神社春祭り (須川)



定例議会 (平成19年3月7~16日)

…2

平成19年度予算 一般会計・特別会計 2

町政を問う 一般質問9人 5

議会の動き 15

臨時議会 (平成19年1月30日・4月20日)

…4

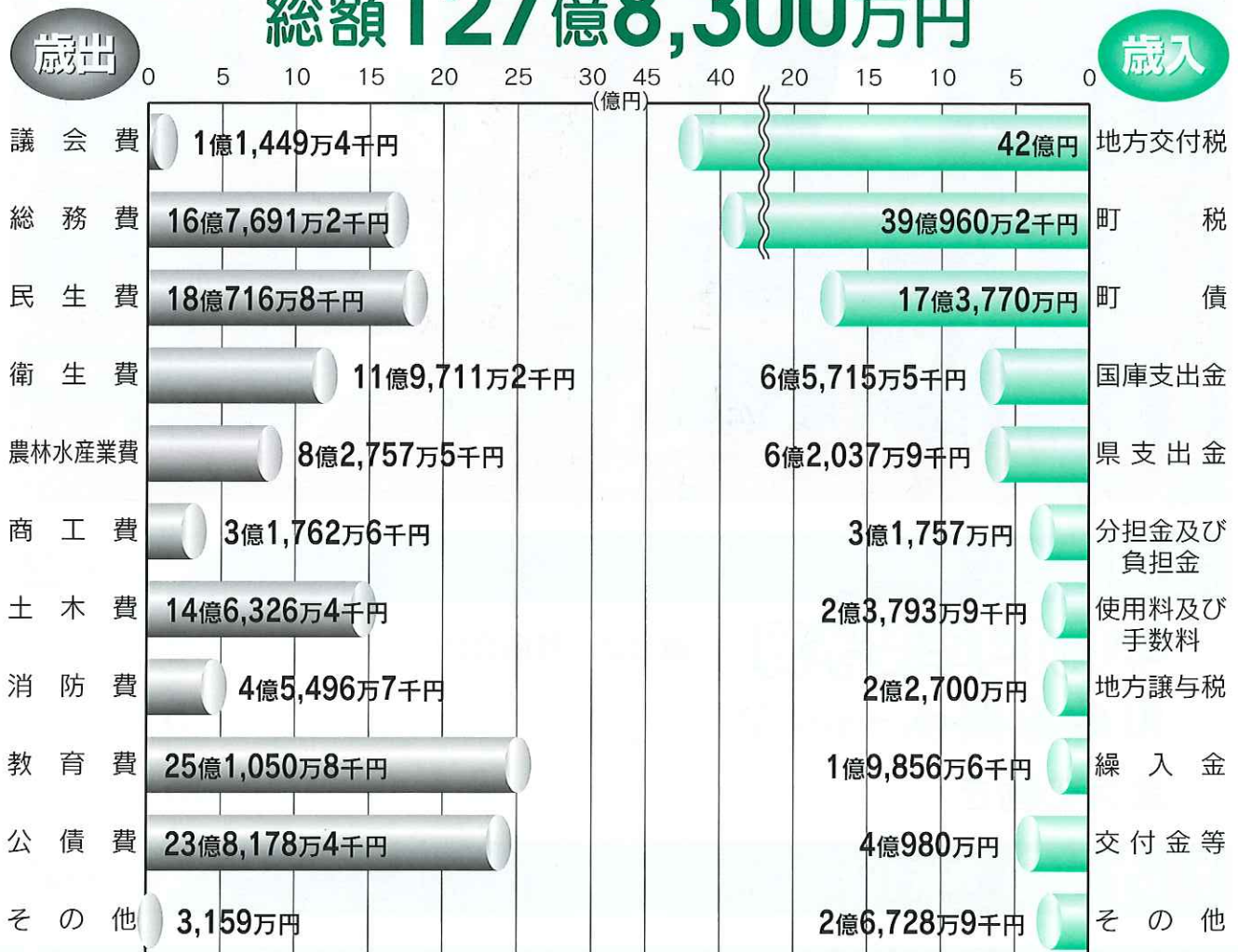
3月 定例議会

7日から16日までの10日間の会期で開催されました。
 人事諮問1件、条例改・制定18件(うち議員発議4件)、規約変更・決定5件、
 補正予算10件、その他議案・発議4件、報告1件が提出されました。
 また、19年度一般会計・特別会計の当初予算について審議しました。
 審議の結果、条例改正1件を否決、その他の議案を原案通り可決しました。
 9人の議員が『財政再建』『住民サービス向上』『うららの郷』『観光振興』
 『農政』その他町の課題等について一般質問をしました。

平成19年度 当初予算

一般会計

総額 127億8,300万円



特別会計

当初予算論

◇一般会計

反対 島崎栄一議員

スクールバスが無料になつていないので賛成できません。

◇国民健康保険特別会計

反対 穂苅清一議員

町民への負担が大きくなつてきている現状から、反対せざるを得ません。

◇水道事業特別会計

反対 穂苅清一議員

1m五五円から110円になることも考えられます。

賛成 阿部賢一議員

組織の機構改革や施設の統廃合等、行財政改革に取り組む姿勢が見られます。

賛成 河合生博議員

国民健康保険の運営上、どうしても必要な財源です。

賛成 山田庄一議員

日常生活上で不可欠な水道施設の経費計上です。

反対 原沢良輝議員

前年より多い一七億三七七〇万円の町債を発行する本予算には賛成できません。

反対 島崎栄一議員

東部水道は浄水場を改修すれば、新たな井戸を掘る必要はありません。

賛成 前田善成議員

水質が悪化しており改良が必要です。安全な水が供給できるよう要望します。

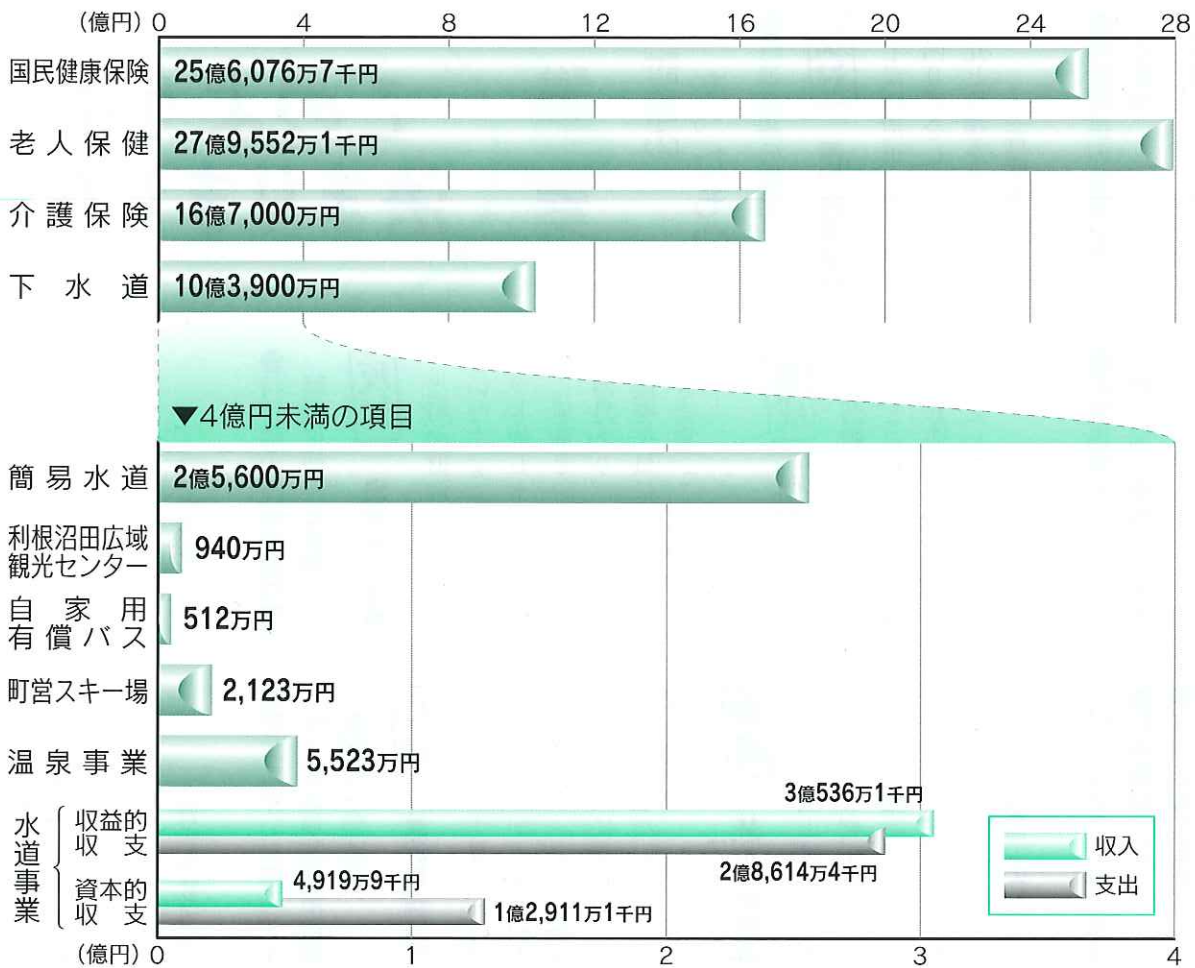
(賛成多数可決)

(賛成多数可決)

◇スキー場特別会計

◇温泉事業特別会計

(全会一致可決)



このように決まりました。

議案

— 討論の —

あったもの —

職を置かない市町村が多くあります。
当町も、副町長の定数をゼロとすべきです。
(賛成多数可決)

●特別職の職員の給与の特例に関する条例

反対

島崎栄一議員

当町の財政は非常に厳しいです。そのため、給料カットや五十八歳で余儀なく退職という状況です。四月より、副町長・収入役を欠員にすれば節約できます。

てんは町の責任であり、その財政逼迫の原因を老人にしわ寄せするのは許されません。
(賛成多数可決)

●町生きがい対応型デイサービス事業費用徴収条例の一部改正

反対

原沢良輝議員

三月補正予算で、町の損失補てんが六千万円近くあります。上手く振り分け、老人に優しい予算をお願いしたい。

●十八年度補正予算 (三月補正)

◆一般会計
— 討論 —

反対

原沢良輝議員

本来、町の予算は、困っている町民の期待に応えるよう編成されるべきです。

7月臨時議会

議案

- 町道路線認定
- 町道路線廃止
- 町都市公園条例の一部改正
- 十八年度補正予算
- ◆下水道特別会計

(すべて全会一致可決)

4月臨時議会

発議

- 町農業委員の推せん
左記の人が推せんされました。
- 竹内順一氏 (下津)
- 真庭靖江氏 (政所)
- 田原宇一郎氏 (川上)
- 原澤昭子氏 (布施)

(全会一致可決)

専決処分

- 十八年度補正予算
- ◆一般会計

- 町税条例の一部改正
- 町都市計画税条例の一部改正

- 町国民健康保険税条例の一部改正

(すべて全会一致承認)

諮問

- 人権擁護委員候補者の推せん
左記の人が推せんされました。

阿部好司氏 (綱子)

(全会一致同意)

●町道路線の廃止

反対

原沢良輝議員

下津の沼田〜十二原線は回り道をしていくので、地元と協議を願います。
(賛成多数可決)

賛成

中村 正議員

風評被害等も出ましたが、とにかく現行四人体制で頑張っていく姿勢を大事にしました。
(賛成多数可決)

賛成

林 一彦議員

今回の改正は、サービスコストと利用者負担額の値上げ幅を最小限にとどめています。やむを得ない改正だと思えます。
(賛成多数可決)

●町副町長の定数を定める条例

反対

原沢良輝議員

財政が逼迫する中で、県内外でも助役等の特別

●町営温泉センター「三峰の湯」条例の一部改正

正

反対

原沢良輝議員

ノルン水上等の損失補

※以下は全会一致で可決

- 町道路線の認定
- 字の区域の変更
- 町特別職報酬等審議会条例等の一部改正
- 町普通財産の使用料に

改正

- 三峰山トンネルの電気設備等の維持管理に係る事務の委託に関する規約
- 町課設置条例等の一部改正

改正

- 利根沼田学校組合の規約変更
- 三峰山トンネルの電気設備等の維持管理に係る事務の委託に関する規約
- 町課設置条例等の一部改正

改正

一般質問

町政を問う

9人が質問を行いました。

主な内容

- **林 喜美雄** ①うららの郷分譲販売の促進6
②農地作業受委託農家等の育成策

- **島崎 栄一** ①小学校統合6

- **鈴木 勲** ①未納問題は厳しく対応を7
②農政問題と工場誘致

- **河合 生博** ①普通救命講習の機会を
全町民に与えていただきたい8
②新生みなかみ町のさらなる活性化対策
③有害鳥獣対策

- **阿部 賢一** ①住民サービスの向上8

- **森下 直** ①観光地振興9

- **原澤 良輝** ①財政再建と住民サービス10

- **前田 善成** ①財政健全化に伴う経費削減による
人材活用、施設・組織変更10
②栄養教諭の採用

- **穂苅 清一** ①町の入札契約制度11

島崎 栄一 議員

小学校統合は

コストが

高くつく

町長 施設の統合進めば コスト削減期待できる

もし統合してスクールバスで児童を運ぶと、今の学校維持費より多くかかってしまいます。バスの購入に二千万円、維持

閉校の準備が進められている須川小学校は、一、二〇人の児童がいます。ちょうど良い規模です。

費四〇〇万円、運転手の人件費一千万円、合計三千四〇〇万円。年間六五〇万円の維持費で済んでいる須川小を、住民の意に反して統合し、三千万円も余計に費用をかけるのは無駄な事です。



須川小学校

うららの郷の価格 若年層意識し見直しを

町長 温泉活用等とも併せ検討

林 喜美雄 議員

人口の流出防止、また若者の定住等を目的として七五区画を造成し、二三区画を販売済、残り五二区画。販売率は約三〇%です。時代の背景、近隣の地価の状況等を考察する時、坪平均単価の値下げを断行して、魅力的な価格にして販売の促進を図る必要がありますが、と思います。



うららの郷

問 人口の流出防止、また若者の定住等を目的として七五区画を造成し、二三区画を販売済、残り五二区画。販売率は約三〇%です。

町長 町としても、重要な事業と認識しています。

専任職員二名を公社に派遣し、販売促進に努力してきたところであり、各種の営業活動を踏まえ、区画の変更や温泉の活用等検討し、価格の見直しも視野に入れ、町としても対応していきたい。

問 若い世代にも手の出るような価格設定にしていきたい。温泉の現状と活用策は。

答 地域振興課長 泉温三五度、日量一〇〇tほど、三七区画に配湯可能です。

農地作業受委託 農地の作業委託や貸付を希望する農家が增大、また潜在化しています。受託農家に支援・育成策を。

問 農地の作業委託や貸付を希望する農家が增大、また潜在化しています。受託農家に支援・育成策を。

答 建設業者による受託組合、J A、受託農家への料金設定等調整・支援すべきと思いますが。

町長 点在する農地を受託する事は難しい中「中山間地域直接支払い制度」を活用して作業受託を行っている例もあります。新規事業として、個別経営でも投資費用の一部を補助する「地域担い手経営基盤強化総合対策実

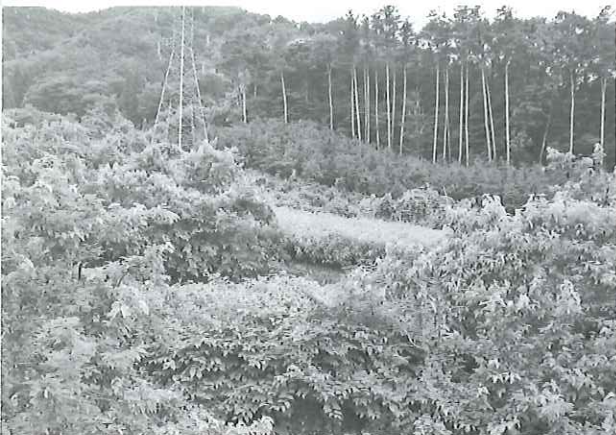
農政課長 この辺の調整については、町も一緒に頑張って摺り合わせをしていきたいと思っています。

農業振興と工場誘致で地域の衰退食い止めて

町長 重要であり積極的に取り組む

鈴木

勲 員



荒廃した農地

対策事業を
導入し、農
業・農村の
基盤を支え
ていきます。
また農業
後継者と農
業の展望で
すが、当町
の農業は、
果樹や畜産、
米と野菜の

答 町長 須川学区内で
は三路線を想定して
います。三路線の人件費
を含める管理費が六五〇
万円見込まれます。

新治地区全体の現在の
スクールバス経費と、学
校予算の四千三〇〇万円
に対し、統合後の全体経
費は四千十万円となり、

七二〇万円の減額が想定
されます。

施設統合が進めば、経
費削減につながると考え
ています。

問 須川学区のスクール
バス経費は六九〇万
円という返答ですが、ス
クールバス一台を動かす

には、保険料・車検・燃
料費等があり、約二〇〇
万円くらいだと思います。
三台で六〇〇万円。それ
から四人の運転手の人件
費が一千四〇〇万円。合
わせて二千万円かかるの
ではないでしょうか。

須川小を新たな施設と
して利用する場合、その

改築の費用、施設の維持
費がかかり、経費削減効
果はないと思います。小
学校三校を一つに統合し
ても、二つは別の施設と
なるので、経費削減には
なりません。

答 町長 今ここに来て
統合を止めると言う

複合経営が上位を占めて
おり、農業振興は重要な
課題です。

問 集落に人が少なくな
るといった危機感か
ら、工場誘致を早急に対
応してください。

答 町長 県は産業集積
促進室を中心に、利
根沼田地域に工業導入の
状況を調査しています。
積極的な企業誘致の活
動に取り組んでいきたい
と考えます。

■公共料金の未納問題

“払い損”とならぬよう毅然と対処を

問 公共料金の未納は
困ったものです。

町は、経済状況を把握
して厳しく対処し、真面
目な人が馬鹿を見るよう
な町であってはなりません。
滞納状況を踏まえて
伺います。

答 町長 給食費未納に
ついては、学校給食
法の規定により「食材費
は保護者が負担」と定め
られています。
未納は当町では小学校
一・七％、中学校二・七
％であり、今後は教育委

問 着工し、良い校舎が
できるのは良い事
です。ただ、その後に須川
小と猿ヶ京小の統合には
疑問があります。

介護保険制度では、保
険料を一年以上滞納する
と、保険給付の一時差し
止めや利用者負担率の引
き上げが行われるので、
根強く制度の説明を行い、
滞納解消に努めていきま
す。

旧新治村の教育委員会
の答申があり、議会とし
ても結論を出してくれま
した。この決められた事
を私はしっかりとやってい
きたい。

町税については、滞納
整理室設置以来九ヶ月を
経過しました。今後は一
層厳しく対処していきま
す。

河合 生博 議員

より安心な町へ 救命技術の普及を

町長 消防と連携し進めたい

問 町の将来を託す、少なくともなりつつある大事な子供たちや町民が安心して幸福に暮らすため、

何よりも大切な命を救うために、普通救命講習の機会を全町民に与えていただきたい。



救命講習の様子

答 町長 何より最優先して生命を救うため、広域消防と緊密な関係を作り、応急手当の必要性と技術を、多くの町民が身に付けられるように努めます。

■農作物の鳥獣被害
深刻な状況で対策は急務

問 町の基幹産業の農業は、近年、鳥獣被害に見舞われており、耕作放棄をしなければならなくなっています。

早急に被害対策をしなければ山里は崩壊します。それを理解して、万全の対策を考えていただきたい。

答 町長 有害鳥獣対策は、地域の人たち、

役場で共に対策を考えた。網、罾をかける資格取得のテキスト代の補助、捕獲や駆除についての奨励金制度、パトロール等、有効と思われる対策はすべて取り入れ、被害を最小限に食い止める努力をします。

■町の活性化施策
職員を適材適所に配置し強い町に

問 夢のある未来に向かつて、現在の人材を適材適所に据え、夢のある町づくりのため、思い切った政策をしていただきたい。

答 町長 職員は常に広い視野と柔軟な思考が求められます。適材適所、人材の育成を図り、足腰の強い町を早急に確立します。

窓口業務の 時間延長 検討しては

町長 施行例を調査し協議したい

阿部 賢一 議員

問 最近では共働き世帯が増加しており、平日の時間内に役場に行きたくても行けません。また町外勤務の場合、五時一

五分に間に合いません。行政は誰のためにあるのかと考えれば、住民サービスを最優先すべき

だと思えます。

窓口業務の延長（午後七時くらいまで）・時間外開放に踏み切るべきと考えます。フレックスタイム制等を導入して対応できるのではないのでしょうか。

答 町長 「フレックスタイム制」は、地方公務員法で適用除外となつています。現在全職員を対象に、「組織、機構改革および行政評価システム導入のための事務事業量調査」等を進めています。

イベントと環境整備で 魅力ある観光地に

森下

直
議員

町長 観光客に満足いただけるように

窓口業務を延長している自治体もあるので、実態調査をし、関係者と協議していきたい。

問 昼休み中の対応はどのようになっていきますか。

答 保健福祉課長 職員が当番制で対応して

います。時間外においても担当職員がいる限り対応しているのが現状です。
問 憲法と地方公務員法にある「奉仕者」をどのように解釈していただきますか。

答 総務課長 一部の奉仕者かという難しいと思いますが、住民の意向に添うよう努力していきたいと思えます。



来庁者に対応する職員

問 観光立町を目指すため、月夜野地区の茂左衛門地藏尊や矢瀬遺跡、ホタル鑑賞地、ヤッサ祭、小高神社等多くあります。これらを観光産業に結びつけ、宿泊地と地域の祭りやイベントを組み合わせた観光振興を進め、これに伴う駐車場や進入道路の整備を行い、観光の拠点作りに町が主体となつて進める考えがありますか。

答 町長 合併以来、観光資源の豊富な町と

なり、訪れるお客様に満足感を与える魅力ある観光地づくりが急務であり、観光地づくりと施設整備に取り組んでいきたい。

また、イベントの予算は他の祭り補助金を減額し、当祭りの一部費用補助としていただきたい。ヤッサ祭も、観光客が増えてきているが駐車場

が少ないため、町有地利用検討を願いたい。
答 町長 周遊マップは、行政も協力やサポートはしますが、観光協会

また、これらの周遊ルートマップの作成も考えているでしょうか。

問 茂左衛門地藏尊運営で現在いちばん苦悩しているのは、参詣者や観光バス等の駐車場がない事です。そこで、旧月夜野中学校跡地を駐車場とし、その入り口付近の整備について。

ホタル鑑賞のイベントは、二十一年間続いており、各温泉地の宿泊客等が増加され、経済効果が多大だったので、復活してはどうでしょうか。

や関係者が中心に作成してはいかがでしょうか。
茂左衛門地藏尊にお参りに行ける環境づくり、また、バス等の進入道路整備をしなければ、そこで都市計画事業に取り組み中で、この道路整備等もしていきたい。

ホタル祭イベントは、ホタルを守る会や観光協会の皆さまと行政も関わって検討したい。またホタル祭の町補助金は、同様に予算内で調整したい。

ヤッサ祭の駐車場は、行政で調査し取り組みたい。



茂左衛門地藏尊（春季例祭にて）

原沢 良輝 議員

住民サービス向上と 財政再建への対応は

町長 各方面において鋭意努力

問 予算は正確な歳入見
積もりにより、歳出
は必要な事務事業を、各
課係をこえて連絡を取り
ながら編成する必要があ
ります。

富士見村や吉井町など
人口が類似する五町村に
比べ、当町は公債費が二
六億円と約三倍です。

答 町長 予算編成は各
課がフリーな状態で
予算要求するので、結果
として歳入を上回ります。

公債費は合併により衛
生施設組合分を含んでい
ます。近隣の東吾妻町や
婦恋村・片品村もほぼ同
額です。

問 土地開
発公社
の運営の悪
化が町の財
政負担に直
結しますが
「うららの
郷」の販売
状況は、平
成十二年に
九戸だった
のが段々少
なくなり、
平成十七年
はゼロです。

町長を先頭
に全職員が
販売対策を強化しなければ
なりません。



町保健福祉センター

から職員二人で完売に努
力中です。

問 普通建設事業は二倍
の十七億円、他の経
費もほぼ二倍ですが、住
民サービスの扶助費は同
額の九億円です。町職員
は行政需要に応じて採用
され、一人当たり給与も
他町村に比べ四％少なく
なっています。財政危機
というところでやめさせら
れてはたまりません。

答 町長 職員の勧奨退
職は強制的ではあり
ません。過去の採用は現
時点ではその是非を問う
ものでないと考えます。

問 構造改善室での事
務・事業の見直しは、
各課の係制のグループ化
や朝夕・土日・祭日の窓
口対応など、勤労者や納
税の利便等住民サービス
向上を図る必要があると
考えますが、町長の見解
を伺いたい。

答 町長 構造改革は町
民、学識経験者・職
員等で検討委員会をつく
り、組織、施設統合、行
政サービスの検討をお願
いする考えです。

前田 善成 議員

食育ができる

「栄養教諭」

採用の考えは

教育長

栄養士業務との

両立が課題

答 町長 二人の栄養士
が手続きし、栄養教
諭の資格が取得できれば、

保健費用抑制に役立
つ食育教育を、子供
や親世代に行える、文科
省が奨励する栄養教諭の
県内初の申し込みの考え
があるか伺います。

答 教育長 栄養士の業
務と学校児童の指導
を行う事は難しい事もあ
りますが、これからの問
題として考えていきたい。

学校の先生と連携して、
食に関する指導を行って
欲しいと期待しています。

県教委 推進 小中6校へ「栄養教諭」

栄養教諭は、肥満や偏食、食物アレルギーなど、前橋桂萱小、高崎佐野小、の児童生徒に対する個別、藤岡東中、高山小、みやまや集団指導を実施。地産、かみ須川小、みどり笠懸地消促進のためのコーデ、小の六校に配置される。

十九年度からの配置となる
(三月三十日付上毛新聞より)

公平・公正・透明性ある 入札制度を

町長 条件付き一般競争を検討中

穂苅 清一 議員

■人材の有効活用

早期退職者を請負会社設立で雇用しては

問 国から地方への暴風のような風当たりによる緊縮財政の中、ワー・ストグループに数えられる財政内容の我が町において、組織の経費や施設の見直しは必要です。

早期退職者の雇用対策として、役場業務、事務測量、コンサルタンの請負会社の設立や施設運営、営業を主とした会社への組織変更の考えがあるか伺います。

答 **町長** 早期退職者の対策として、給食センターや保育園のような外部委託制度を導入し、住民と協働での体制づくりを、行政事務全体で考え、施設の検討を行い、

既存のセクターの事業拡大で対応したい。

問 約一億五千万円程度の管理委託費や保守点検料による、業務請負会社へのセクター会社の業務拡大や、福祉事業の経営者の業務委託による

経営安定化によるサービスの向上に努めてほしい。

答 **町長** 真剣に考えなければならぬし、新年度早々に立ち上げ検討していく方向で考えていきたい。

答 **課長** 浄化槽、電気なども含め、予算などの面で民間との比較を行い、事務事業の調査検討を含めて検討していきたいと考えています。

問 福島、和歌山、宮崎の建設工事をめぐる官製談合事件から、全国知事会は指名競争入札を早期に廃止する指針を決定しています。「談合根絶宣言」を発表しましたが、当町も指名競争入札を廃止して、条件付き一般競争入札を実施する考えがないか、町の方針をお聞きしたい。

問 入札予定価格の事前公表をする必要性があるのでは。また電子入札制も採用すべきではないでしょうか。

問 仮称新治統合小学校の新築にともなう、

解体及び校舎・体育館建設・沼田土建・杉木土建・泉土建の共同企業体による約十一億七千万円の工事で進行

中です。これは本来、合併積算を行い、議会の審議を経て変更請負契約書を締結すべきものと思いますが、どう考えていますか。

答 **町長** 三県知事が摘発されたことは大変遺憾に思います。当町では新年度より、設計金額が一定額以上の工事については、条件付き一般競争入札の導入を検討して

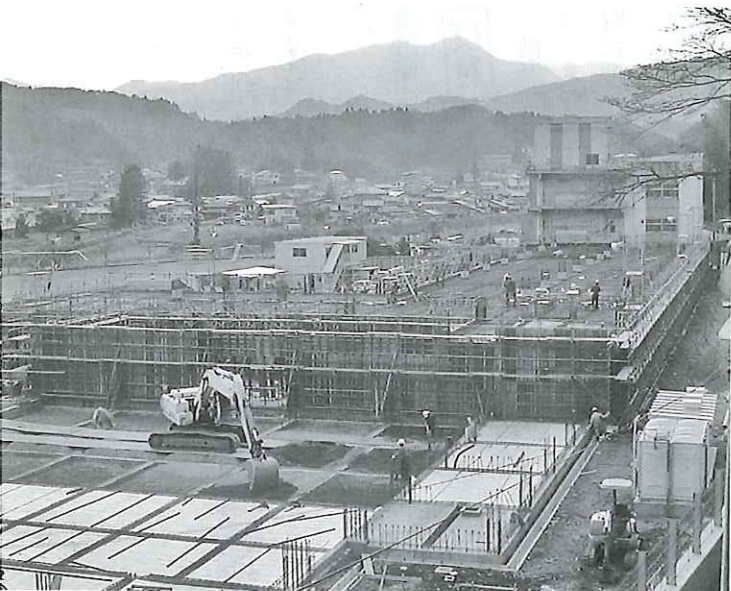
答 **町長** 入札前の事前公表は、一般競争入札と併せて検討しています。

答 電子競争入札システムは県内で共同開発し、県と数市町村が運用していますが、本町は参加していません。運用費や負担金がかかりますので、慎

重に検討する必要があります。

解体及び校舎・体育館建設・沼田土建・杉木土建・泉土建の共同企業体による約十一億七千万円の工事で進行

答 **町長** 解体工事は単独の積算です。校舎・体育館は後に発注された体育館工事と合併積算して経費の削減を図っており、四百三十九万円程安くなっています。



建設中の統合小学校校舎

3月16日本会議にて議員発議がありました。

議員報酬

●町議会の議員の報酬の特例に関する条例

議 長	266,000円	→	250,000円
副 議 長	209,000円	→	200,000円
常任委員長	199,000円	→	190,000円
議 員	190,000円	→	180,000円

※平成22年4月30日まで

議員定数

●町議会議員定数条例

定数 23 → 20

※次回（平成22年5月）改選時より

討 論

●町議会の議員の報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正

反対 前田善成議員

現状の時勢を考えれば、職員と同等の報酬カットが好ましいと思います。

賛成 原沢良輝議員

議員の報酬は税金から支払われるので、町民の納得いく額でなくてはなりません。

（賛成少数否決）

●町議会の議員の報酬の特例に関する条例

賛成 鈴木 勲議員

町財政は県内でいちばん悪く、町四役も給与を減額しており、議員も減額すべきです。

賛成 山田庄一議員

財政再建の改革元年であり、議員も減額し、政

策提言できる議員として町に貢献したい。

（全会一致可決）

●町議会議員定数条例

反対 原沢良輝議員

削減すれば町民との結びつきが弱まり、議会と町民の距離が広がります。

賛成 鈴木 勲議員

非常に厳しい状況下、三議席減による経常経費の削減が必要です。

反対 高橋市郎議員

新議会となって十ヶ月しか経っておらず、時期尚早です。

（賛成多数可決）

●町議会委員会条例の一部改正

（全会一致可決）

飲酒運転根絶に関する決議

飲酒運転根絶に関する決議

全国的に飲酒運転による痛ましい交通事故の発生が相次ぎ、飲酒運転に対する強い憤りをもたらしした。

そして、飲酒運転による危険性が再三にわたって指摘されているにもかかわらず、その後も飲酒運転の取り締まりでは多くの運転者が摘発されている現実がある。

もとより、飲酒運転は、運転者自身の自覚の問題であるが、その同乗者、家族や職場、さらには地域が一体となって、飲酒運転を絶対許さないという強い意思を示す必要がある。

交通事故のない安全・安心なまちづくりは、私たち、みなかみ町民すべての切実な願いである。よって、本町議会は、改めて交通安全意識の徹底を強く呼びかけるとともに、関係機関・団体との連携・協力を強化し、町民と一体となって飲酒運転の根絶に向けて全力で取り組むものである。

以上のとおり決議する。

平成十九年三月十六日

みなかみ町議会

（全会一致可決）

議員表彰 (敬称略)

現職議員

㊦倉澤長男 ㊧阿部源三



＊議員一〇年表彰者・七人
 (群馬県町村議会議長会)
 (前職) 神保啓光・生方昭一・持谷順一郎・林多加志・富澤豊・西田美江・松井秀明
 ＊一五年表彰者・四人
 (全国町村議会議長会)
 (前職) 増田宗利・高橋光夫・小崎洋一郎
 (現職) 倉澤長男
 ＊二三年表彰者・二人
 (群馬県町村議会議長会)
 (前職) 眞庭幸男
 (現職) 阿部源三

前職議員



(上段左より) 富澤豊・神保啓光・高橋忠夫・生方昭一・西田美江・松井秀明・矢野局長
 (下段左より) 高橋光夫・増田宗利・眞庭幸男・傳田議長・本多副議長
 ※持谷順一郎氏・林多加志氏・小崎洋一郎氏は都合により欠席

行財政改革特別委員会 (第二回中間報告) 委託料について

3 / 16

報告…委員長 速水一浩

本特別委員会では、町の財政再建には、人件費・補助費・物件費などの経常経費の削減が急務であると考へ、現在議論を重ねている。人件費については、十九年度の予算編成の際に、町と職員組合が話し合いを重ね、職員の血のにじむような決断により成果を上げている。

また補助費については、町の「補助金検討委員会」の答申を受け、約三、三〇〇万円の削減を十九年度予算において断行した。

残る物件費については、本特別委員会が十八年十二月定例会に於いて、指定管理料の削減を目的に「委託事業について」を報告し、その後、さらに一般会計の細部の「委託料」について調査を進めてきたが、本特別委員会としての意見がまとまったので、ここに報告する。

細かい報告書の内容(全文は議会事務局にあります。)については、紙面の都合上割愛するが、かなり厳しい内容となった。町当局に於いては、この報告書を基に十九年度の「委託料」の契約を結んで頂くことを望む。

最後に、今回の報告書では、職員に対し大きく期待を寄せる内容となったが、民間では既に歩んだ道であり、本町に於いても、勸奨退職に応じてくれた職員や、補助金ゼロベースからの削減を受け入れざるを得ない町民の気持ちに配慮するためにも、議会・町・職員が一丸となり、一日も早く財政再建を成し遂げ、「夢のあるみなかみ町」創造のため、今後も更なる協力をお願いし、本特別委員会の報告とする。

みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覧

No.	受理年月日	件名	提出者	付託委員会	審議結果
請願	6	(平成18年 継続審査分) 猿ヶ京老人ホーム移転問題について	猿ヶ京温泉357 猿ヶ京区長 田村卯太郎	厚生	趣旨採択
	7	(平成18年 継続審査分) 全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める	前橋市桶越町183-4 全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長 関口昭三	厚生	趣旨採択
	1	18.12.20 諏訪峡遊歩道について	鹿野沢70-8 水上観光協会長 木村嘉男 ほか1名	産業観光	趣旨採択
	2	19. 2.19 町道の一部を消雪道化へ改良について	吹路296 吹路区長 田村枝久	産業観光	趣旨採択
	3	19. 2.23 幸知・水上統合小学校の早期実現について	大穴481-1 幸知小学校統合問題対策委員会 代表 林 寛 ほか88名	総務文教	採 択
	4	19. 2.23 幸知・水上統合小学校の早期実現について	湯原720 水上小学校PTA会長 鈴木俊夫	総務文教	採 択
	5	19. 2.27 藤原地区活性化について	藤原2972 藤原地区振興協議会 会長 吉野仍次 ほか4名	産業観光	不採 択
6	19. 2.27 統合校舎計画の見直し及び須川小・猿ヶ京小の存続を求める	猿ヶ京1189 須川小・猿ヶ京小の存続を求める 町民有志の会 代表 林 強一	総務文教	不採 択	
7	19. 2.27 「国民投票法案」の徹底審議と廃案を求める意見書提出について	下牧143 みなかみ町平和委員会 代表 小林一義	総務文教	不採 択	
陳情	1	19. 1.29 下津地内の水路拡張工事のお願い	下津3252 高橋金作 ほか4名	産業観光	継続審査
	2	19. 1.30 奥平地区防火水槽（40t級）設置のお願い	入須川1602-21 入須川区長 本多隆二 ほか1名	総務文教	採 択
	3	19. 2.13 箕輪日影地区の道路改修工事について	布施283 布施区長 鈴木一己 ほか34名	産業観光	趣旨採択
	4	19. 2.22 国道17号線羽場押出地内から羽場廻戸地内までの下り車線に歩道を設置して下さい	羽場1486 下羽場区長 本多唯夫	産業観光	採 択

議会の動き

*平成19年1月～3月

1月	5(金)	群馬県議会新春交流会(群馬県庁)
	7(日)	消防出初め式
	10(水)	議会だより編集委員会 JA利根沼田新年賀詞交歓会 水上防犯協会新年会
	11(木)	補助金検討委員会
	14(日)	みなかみ町子供歌舞伎公演(県民会館) 第54回群馬県中学校スキー大会(藤原)
	15(月)	広域圏定例議員協議会 郡議長会
	16(火)	群馬県町村トップセミナー(市町村会館) 老人クラブ連合会新年会(月夜野地区)
	17(水)	みなかみ町新年賀詞交歓会
	18(木)	議会だより編集委員会
	21(日)	猿ヶ京区新年会 利根沼田聴覚障害者連合会新年会
	22(月)	新治観光協会新年会 ゲートボール協会理事会総会
	23(火)	議会だより編集委員会 補助金検討委員会
	24(水)	みなかみ町婦人会新年会 水上観光振興対策会議(水上支所)
	25(木)	老人クラブ連合会新年会(水上地区)

2月	2(金)	みなかみ町文化協会新年会
	3(土)	茂佐衛門地藏尊節分会(茂佐衛門地藏尊堂) 市兵衛地藏尊節分会(市兵衛地藏尊堂)
	6(火)	議会全員協議会 行財政改革特別委員会
	7(水)	補助金検討委員会
	8(木)	老連新治支部新春懇談会(猿ヶ京) 身障福祉団体連新年会(水上)
	9(金)	有害鳥獣駆除に係る意見交換会
	13(火)	新治地区ゲートボール協会新年会(猿ヶ京)
	14(水)	行財政改革特別委員会 ベトナム国フートー省人民委員来庁

2月	16(金)	ダム水源地ビジョン推進協議会
	18(日)	囲碁将棋大会(老人福祉センター)
	19(月)	学校組合議会協議会(利根沼田文化会館) 広域圏定例議員協議会 障害者福祉計画策定委員会 教育施設整備検討委員会
	20(火)	県議長会定期総会
	23(金)	老連月夜野支部芸能大会(老人福祉センター)
	24(土)	チャリティ芸能大会(老人福祉センター)
	26(月)	学校組合議会定例会(利根沼田文化会館) 広域圏定例議会(利根沼田文化会館)
	27(火)	議会全員協議会
28(水)	議会運営委員会 行財政改革特別委員会	

3月	1(木)	利根商卒業式 議会だより編集委員会
	2(金)	議員表彰伝達式(退職議員)
	7(水)	第2回みなかみ町議会3月定例会(開会日)
	8(木)	第2回みなかみ町議会3月定例会(一般質問)
	9(金)	第2回みなかみ町議会3月定例会 (一般質問・各常任委員会・議会全員協議会)
	12(月)	第2回みなかみ町議会3月定例会(各常任委員会)
	13(火)	町内中学校卒業式(各中学校) 行財政改革特別委員会
	15(木)	議会全員協議会・議会運営委員会
	16(金)	第2回みなかみ町議会3月定例会(閉会日)
	19(月)	町有地現地調査
	20(火)	町内幼稚園卒園式(月夜野北・にいはる) 温泉事業運営委員会
	21(水)	茂左衛門地藏尊弓道大会 茂左衛門地藏尊春季大祭 江戸川区上下流フォーラム交流会
	22(木)	町内幼稚園卒園式(なぐるみ・下牧・月夜野) 新治観光協会通常総会
	23(金)	町内小学校卒業式(各小学校) ぬまた聖苑焼骨灰供養
25(日)	山岳資料館オープン式典	
26(月)	月夜野観光協会臨時総会	
27(火)	町内保育園卒園式(月夜野) 土地開発公社理事会	
28(水)	町内保育園卒園式(第1・第2・第3・にいはる) アイチコーポレーション新治事務所竣工式	
29(木)	議会だより編集委員会	

議会だより編集委員会

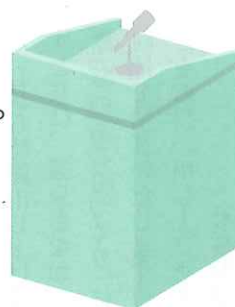
- ◆委員長 河合 幸雄
- ◆副委員長 森下 直
- ◆委員 林 一彦
- 原澤 良輝
- 島崎 栄一
- 本多 秀律

議会を傍聴してみませんか？

◆6月の定例会は、
13～21日を予定しております。

—お問い合わせは—
議会事務局まで

☎ 62-2111 (内線 611)





谷川岳に思いを

水上山岳会会長

中島正二(湯原)

今年の冬は、谷川岳においても雪が少なく登山シーズンが早まりそうです。

私は谷川岳を見て一日が始まります。毎日仰ぎ見ても、その時々表情が違い、優しく、厳しく、美しく、神秘的でもあります。

この谷川岳の麓で、水上山岳会は昭和初期に創立し現在まで、谷川岳に関わって来ました。活動内容は、登山者の安全で快適な登山を確保するため、草刈りや倒木撤去な

どの登山道整備のほか、山開き・安全登山祈願祭を主催するのも大きな役

目です。また登山技術向上の為に国内三〇〇〇m級の山々に登ったり、き



山容は刻一刻と多彩に表情を変える(山頂より)

れいな高山植物が咲き誇る山にも出掛けております。

私は、多くの山々に登山してみましたが、谷川岳はその中でも特別なものを持っております。

まず、都心から近く交通機関に恵まれており、ロープウェイなどの施設も整っております。山麓には温泉も数多く有り、登山者は子供から年輩の方まで登山を楽しんでおりますが、時には厳しい一面を持ち、残念な事ですが多くの遭難者を出しているのも事実です。

特に一ノ倉沢を筆頭に東面の各沢は急峻な岩壁が一〇〇〇mの高さでそびえ立つ姿に鳥肌も立ちます。この驚異の岩壁を登るクライマーをスニーカーを履いて舗装された国道から簡単に仰ぎ観る

事が出来るのは、ここ谷川岳の際立った特長です。また二〇〇〇mに満たない山ですが、気象条件も厳しく、一部の登山コースは、かなりの急勾配ですが、登山者も多い。山頂からの三六〇度の眺めの素晴らしさは勿論の事ですが、そこに連なる稜線は、急峻な岩壁とは違い、たおやかに連なっており心が静まる思いです。

この素晴らしい町のシンボル谷川岳を、今よりも多くのお客様に訪れて頂く為には、ただそこに山が有るだけではでなく、谷川岳の素晴らしさを、町民のみならずが直接谷川岳に触れて知って頂き、故郷にはこんなに素晴らしい山と、自然が有る事を広く伝える事が大切だと思います。さあ今年も、谷川岳登山やハイキングに挑戦してみてください。きっと、素晴らしい事に出会えるでしょう。



平成十九年度予算が可決成立しました。

経常収支比率は一〇二・八%、実質公債費比率は二〇・七%。前者では八〇%未満、後者は一八%未満が望ましい。原因は十八年度まで五年間の地方交付税を十四億円削減されたことです。

今予算は主として、合併特例債を活用した予算です。歳出では、経費の見直しと施設を統廃合して、スリムな体制づくりが課題です。予算可決にあつては補助金の見直し、職員の勧奨退職による人件費のカット、及び物件費などを削減実施することでも承認されました。

特に、早期に退職された職員の方々の御英断に対し、心から感謝申し上げますと共に、議会もなお一層夢のある町づくりに向けて精進いたしますことをお誓い申し上げます。

本多秀律